こども🌸若者いけんぷらすさくら
ワークショップのフィードバック資料

令和8年10月

佐倉市資産経営部資産経営課

新庁舎準備室

１．ワークショップ実施概要

開催日時	令和８年８月５日（水）１３時３０分～１６時３０分
開催場所	佐倉市役所１号館６階大会議室
参加者	いけんぷらすメンバー８名　＋　インターンシップ生２名
目的	佐倉市庁舎は昭和 46 年の竣工から 55 年が経過しており、建物の老朽化や設備の不具合が進行しています。また、窓口機能の分散化、執務室の狭あい化及びバリアフリー不足など、さまざまな課題が顕在化しています。 こうした中、佐倉市では、令和７年４月に新庁舎準備室を設置し、新庁舎整備に向けた検討を開始しました。 令和 10 年度に策定を予定している新庁舎整備基本構想には、さまざまな視点での意見を反映させるため、このたび、若い世代を中心としたワークショップを実施しました。
テーマ	あなたの考える未来の庁舎とは？

２．佐倉市庁舎の状況（課題）

佐倉市としては主に次の３項目を課題として捉えている。

老朽化
- 施設・設備が老朽化している（維持管理コストの増加）
- 雨漏りしている箇所が多数ある
- 耐震上の不安

分散化
- 建物（窓口機能）が分散している
- 市民目線で庁舎の移動負担が大きい
- 職員目線でも連携が取りづらい

狭あい化
- 庁舎内が狭く、十分な待合スペースがない
- 職員目線でも、執務室が狭くて業務に支障がある
- 会議室が常に不足している





3．主な意見と市の気づき、受け止めについて

分類	主な意見	市の気づき、受け止め
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	・バリアフリーで段差がないフロアの設置 ・エレベーター内を広くしたほうが良い ・施設内の通路を広くしたほうが良い ・誰でも使用できる車椅子の設置 ・ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備	庁舎内の段差や広さなど、誰もが利用しやすい庁舎に関する意見も多くあった。 今後は、バリアフリー・ユニバーサルデザインの視点も含め検討していきたい。
建物・設備	・休憩できる場所の充実（数量・規模） ・待合室の充実（規模） ・トイレ数の充実（数量） ・多目的トイレの整備（数量） ・ウォシュレットの設置（数量） ・授乳室の充実（数量） ・キッズスペースの充実（規模・機能） ・施設の適切な温度管理 ・人感センサー照明の設置 ・雨漏りしない建物 ・維持管理コストの少ない建物 ・棟が離れておらず、低層な建物	施設見学をしたことで、建物・設備の不具合や維持管理コストなど、より具体的な内容について言及されていた。 今後は、建物・設備の充実に加え、将来的な維持管理コストの視点も含め検討していきたい。
防災	・防災拠点として整備 ・耐震性が高く、頑丈な建物 ・広くて安全な建物 ・床がきしまない、壁に穴がない建物	建物の安全面・防災面に関する意見も多くあった。 今後は、建物の安全性や有事の際に防災拠点となるような視点も含め検討していきたい。
動線	・棟が分かれていない建物 ・移動が少ない建物配置 ・目的の部署が分かりやすい構造 ・分かりやすい案内表示	移動が少なく、分かりやすい構造、案内表示に関する意見も多くあった。 今後は、利用者の視点に立ちながら動線計画、案内計画を検討していきたい。
利便性	・駅からのアクセスが良い場所 ・公共交通機関でのアクセスが良い	駅からのアクセスの良さや公共交通機関、市民交流や施設の複合化に

	場所 ・駐車場の整備 ・貸し出し自転車の設置 ・フリースペースの設置 ・Wi-Fi が使える建物 ・市民交流ができるスペースの設置 ・多国籍住民との交流スペースの設置 ・公園に近い場所 ・駅直結の場所 ・京成佐倉駅周辺の再開発 ・コンビニの設置 ・複合施設の整備	ついての意見もあった。 今後、こうしたさまざまな意見を参考にしながら、市民が利便しやすい環境や機能について検討していきたい。
窓口環境	・書かない窓口 ・分かりやすい窓口 ・手続きが早く終わる環境整備 ・手続きのオンライン化 ・多言語での自動翻訳機の設置 ・AI による案内 ・プライバシーへの配慮	窓口手続きのオンライン化、グローバル化、AI 案内など、窓口のデジタル化等に関する意見もあった。 今後は、DX を活用した窓口環境の構築や業務効率の向上について検討していきたい。
働き方	・ペーパーレスの推進 ・楽な姿勢で働ける環境 ・高さ調整ができる机や椅子などの什器の充実 ・フリーアドレスの推進	ペーパーレス化やフリーアドレスなどの職場環境に関する意見もあった。 今後は、市民サービスや職員の業務効率の向上に寄与できる執務環境の整備について検討していきたい。
その他	・建物のビジュアルを意識した外観 ・自然光を多く取り入れることができる構造	外観や環境性能に関する意見もあった。 今後は、こうした意見を参考にしながら、若い世代のニーズを反映できるよう検討していきたい。

４．今後のスケジュールについて

下記は新庁舎整備に向けた現時点で想定されるスケジュールである。

こども若者いけんぷらすにおいて出された意見は、令和 10 年度策定予定の新庁舎整備基本構想に役立てていく予定である。

令和 10 年度	新庁舎整備基本構想策定
令和 12 年度	新庁舎整備基本計画策定
令和 13～15 年度	基本設計・実施設計
令和 18 年度	新庁舎供用開始

以上